

みちみちすいすいプロジェクト

実施概要・効果検証結果

1. みちみちすいすいプロジェクトの概要

- 岐阜県内で発生する朝の通勤時間帯の交通渋滞課題に対し、過年度より時差出勤等による交通分散を促すTDM（交通需要マネジメント）の取組を実施。
- 2023年11月1日から「岐阜県TDMプロジェクト（現：みちみちすいすいプロジェクト）」を開始し、企業には時差出勤等の制度整備、個人にはそれら制度を活用した行動変化の協力を呼び掛ける活動を実施。特定のエリア・利用者の縛りを設けずに継続的な取組とすることや企業・団体単位での賛同登録制とすることにより、取組自体の認知度向上、社会全体としての渋滞対策に関する機運向上を図り、岐阜県全体としてTDMの習慣化を目指して推進。TDMが広く浸透する事で、県内幅広いエリアでの渋滞緩和に繋がることを期待。

■プロジェクト概要

項目	内容
実施目的	○岐阜県内で発生する朝の通勤時間帯の交通渋滞課題に対し、時差出勤等による交通分散を促す。 ○取組の認知度向上を図り、社会全体としての渋滞対策に関する機運向上や、TDMの習慣化を目指す。 ○TDMを広く浸透させる事で、岐阜県内の幅広いエリアで渋滞緩和に繋がることを期待。 ※これまでは、国道21号市内立体施工時の渋滞悪化を懸念し、国道21号を始めとした岐阜市内の道路の渋滞緩和を目的として検討してきた。本プロジェクトにより面的に取り組むことが、市内立体化施工時の渋滞緩和にも寄与。
実施期間	○2023年 11/1（水）～
対象者	○岐阜県全体を対象
実施内容	①時差出勤 ②在宅勤務 ③交通手段の変更 ④ルート変更 企業：通勤・勤務スタイルを選択することができる制度づくり 個人：制度を活用した行動変化の実施
取組の特徴	○特定のエリア・利用者を設けず継続的な取組みである ○企業・団体単位での賛同登録制を採用
これまでの活動実績	①様々な広報コンテンツの作成・実施 ・認知拡大に向けて様々な広報コンテンツを作成し、複数媒体により広報を実施。 ②プロジェクト名称の募集・決定 ・一般応募および投票により名称を決定。 ③PR連携協力 ・プロジェクトのPR活動にご協力頂ける企業・団体・個人の方を募集する取組。 ・プロジェクトHPの構築 ・リーフレット・ポスター・広報誌の作成・配布 ・PR動画の配信・掲載、SNSによる配信 等 ・各種媒体（道路情報板、ラジオ、新聞、自治体のHP等）によるPR

■これまでの活動実績

①様々な広報コンテンツの作成・実施



ポスター



リーフレット・広報誌



PR動画の作成・配信



道路情報板でのPR



地元テレビ番組（CCN）でのPR
（令和6年9月24日）



イオンモール大垣での展示
（令和6年9月6日～9日）



県内コンビニエンスストアでの配架

②スマート出勤Weeksの実施



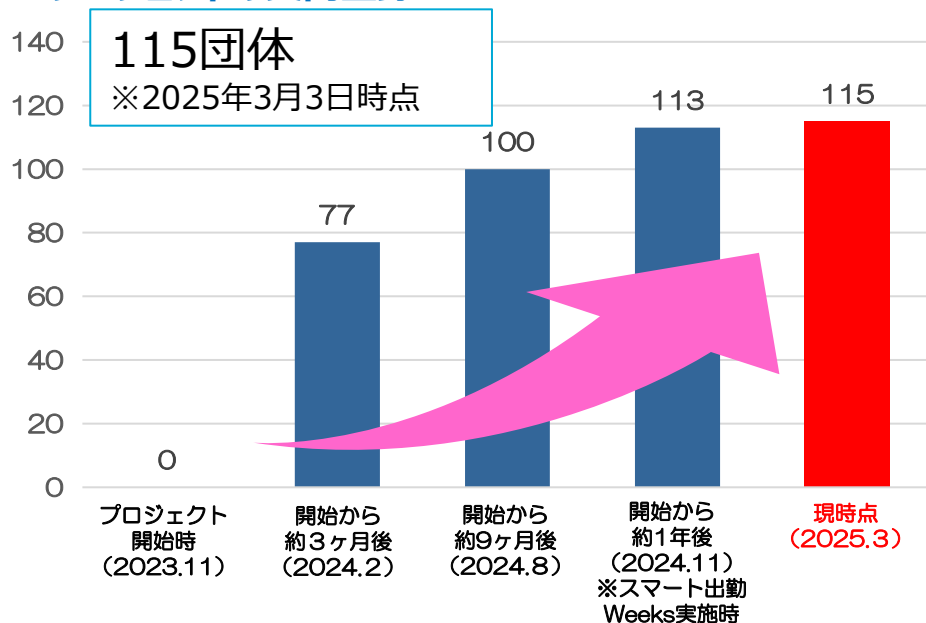
③PR連携協力



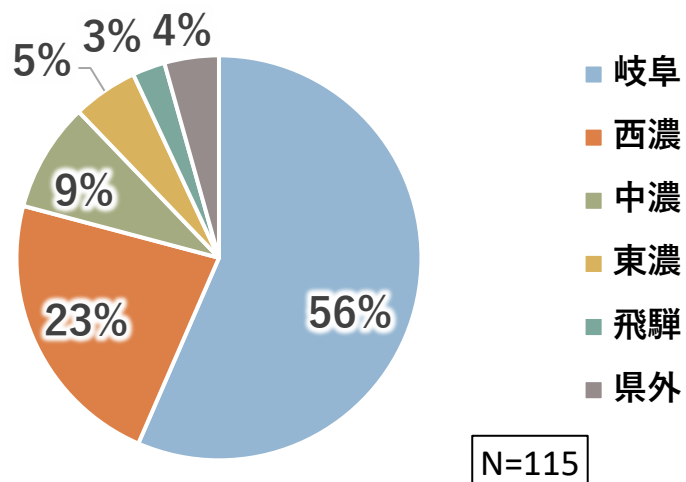
2. みちみちすいすいプロジェクトの現状 ～賛同登録状況～

- プロジェクトの賛同登録団体数は、プロジェクト開始当初から徐々に増加し、2025年3月3日時点で115団体が登録。
- 賛同登録団体の約8割で時差出勤、在宅勤務制度のいずれかもしくは両方を整備済みであり、そのうち約9割が制度を活用。

■プロジェクトの賛同登録



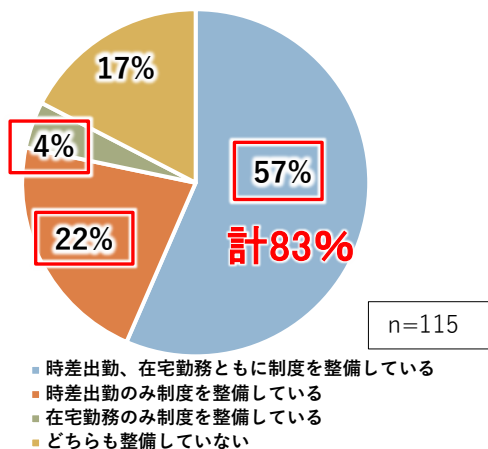
■賛同登録団体の所在地（圏域）



■プロジェクトの賛同登録団体の特徴

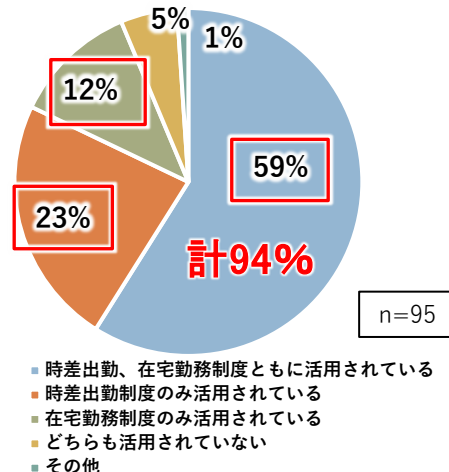
<時差出勤・在宅勤務の整備状況>

- 団体は、約8割が時差出勤、在宅勤務を整備している。



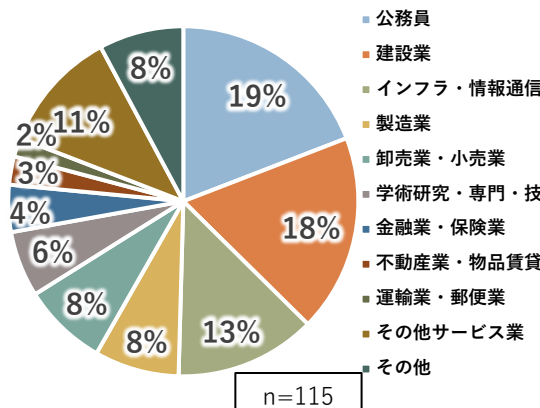
<時差出勤・在宅勤務の活用>

- 時差出勤、在宅勤務を整備している団体の約9割で制度が活用されている。



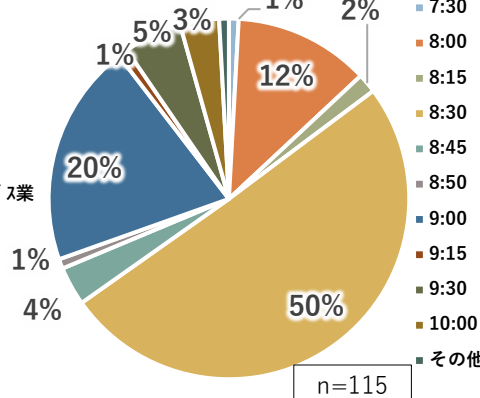
<賛同登録団体の業種>

- 公務員・建設業者が約2割と多いが、様々な業種から登録されている。



<賛同登録団体の始業時間>

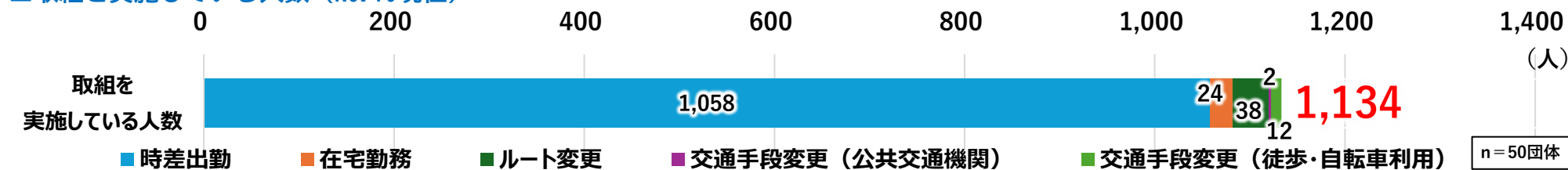
- 5割の団体の始業時間が8：30となっている。



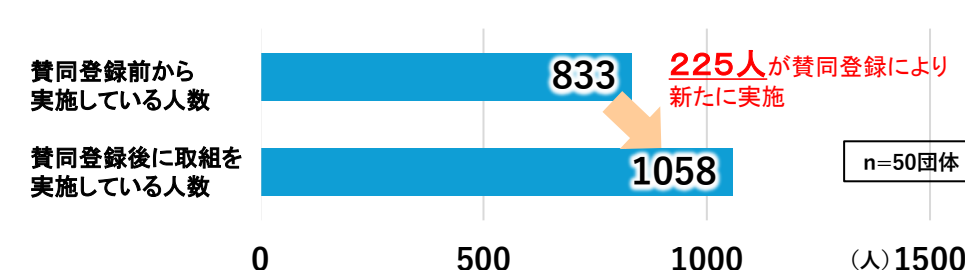
3. みちみちすいすいプロジェクトの効果検証 ～プロジェクトの取組状況～

- みちみちすいすいプロジェクトの浸透状況を把握するため、賛同登録団体にアンケートを実施。（回答数：50団体）
- 現在、みちみちすいすいプロジェクトの取組を実施している従業員は、1,134人。
- このうち、時差出勤で225人、在宅勤務で3人、ルート変更で38人、交通手段の変更（公共交通機関）で2人、交通手段の変更（徒歩・自転車）で12人がプロジェクトの賛同登録を機に新たに取組を実施。
⇒ 所属団体のプロジェクトへの登録により、取組の推進を一定程度確認。

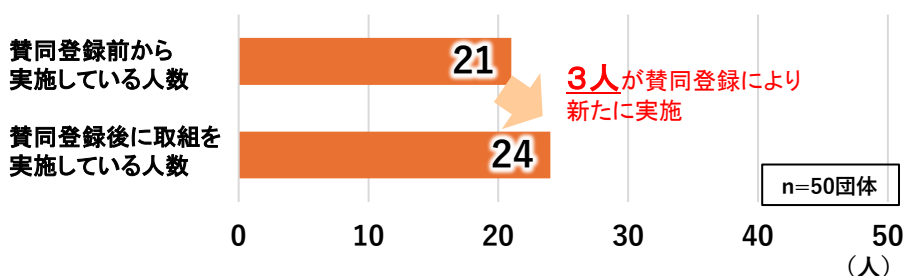
■取組を実施している人数（R6.10現在）



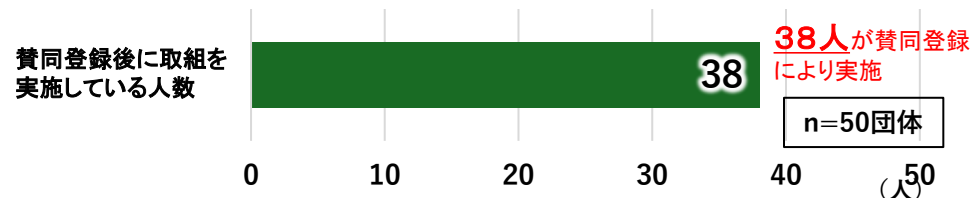
■時差出勤



■在宅勤務



■ルート変更



■交通手段の変更（公共交通機関）



■交通手段の変更（徒歩・自転車）



4. スマート出勤Weeksの概要

- 賛同登録団体が実際に行動を変えてみる「契機づくり」を目的に、重点実施期間を設定し、日頃よりも意識的に時差出勤等に取り組む活動「スマート出勤Weeks」を実施。
- クルマ利用者の交通行動の変更及び本取組をPRすることでみちみちすいすいプロジェクトのさらなる賛同登録を促すことを狙いとしている。
- 賛同登録団体、従業員に対し、本取組の参加目標、現状、期間後の取組結果等を把握するためのアンケートを実施。

■ 実施概要

項目	内容
実施目的	○賛同登録団体が実際に行動を変えてみる「契機づくり」を目的に、重点実施期間を設定し、日頃よりも意識的に時差出勤等に取り組む活動「スマート出勤Weeks」を実施
実施期間	○2024年 11/25（月）～12/6（金） 【平日10日間】
対象者	○みちみちすいすいプロジェクトの賛同登録団体（従業員）
実施内容	① 時差出勤 ② 在宅勤務 ③ 交通手段の変更 ④ ルート変更

■ アンケート調査内容

項目	内容
団体担当者	○事前アンケート：2024年 10/21（月）～11/8（金）：50団体回答 ※スマート出勤Weeksの取組目標や取組結果等を把握 ○事後アンケート：2024年 12/7（土）～12/23（月）：36団体回答 ※スマート出勤Weeksの取組状況の把握や取組に対する評価等を把握 ＜設問内容＞ 事業所情報/制度整備状況・活用状況/現在の通勤状況/スマート出勤Weeksの参加目標/期間中の活動状況/みちみちすいすいプロジェクトの取組状況 等
所属従業員	○事後アンケート：2024年 12/7（土）～12/23（月）：847人回答 ※スマート出勤Weeksの取組状況の把握や取組に対する評価等を把握 ＜設問内容＞ 個人属性/普段の通勤状況/スマート出勤Weeksの活動内容/みちみちすいすいプロジェクトの取組状況/みちみちすいすいプロジェクトの施策検討 等

みちみち すいすいプロジェクト



スマート出勤Weeks

この機会に時差出勤をしてみませんか？

2024年11月25日（月）～12月6日（金）
【平日10日間】

◆「スマート出勤Weeks」は、通勤時間帯の交通の平準化に向けて、特定の期間を設けて、
時差出勤やリモートワーク、交通手段の変更（公共交通、自転車等）、ルート変更により、
日頃よりも意識的に取り組んで頂く活動です。

◆本活動は、車を利用する人の交通行動の変更を促し、県全体で交通混雑の緩和を図ろうとする「みちみちすいすいプロジェクト」の一環として取り組むもので、本プロジェクトの賛同登録団体に所属する従業員の皆様のご参加により実施いたします。本プロジェクトの賛同登録をまだされていない企業様におかれましては、ぜひこの機会にご登録いただき参加してみませんか？

スマート出勤Weeks
詳細はこちら



みちみちすいすいプロジェクトの
賛同登録はこちら



期間中は4つの取り組みの実施をお願いします！

時差出勤

リモートワーク

交通手段の変更

ルート変更

岐阜県道路交通法務対策協議会
（構成員）国土交通省中部地方整備局、国土交通省中部運輸局、岐阜県、岐阜県警察本部、多治見警察署、高山警察署、飛騨警察署、下呂警察署、岐阜市、大垣市、美濃加茂市、各務原市、可児市、多治見市、土岐市、瑞浪市、高山市、飛騨市、下呂市、中日本高速道路株式会社、他9団体
（お問い合わせ）事務局：国土交通省中部地方整備局 岐阜県道事務所 計画課
〒500-8262 岐阜市富田本郷1-36-1 TEL：058-271-9815 Mail：cbr-gifu-keikaku3@mlt.go.jp

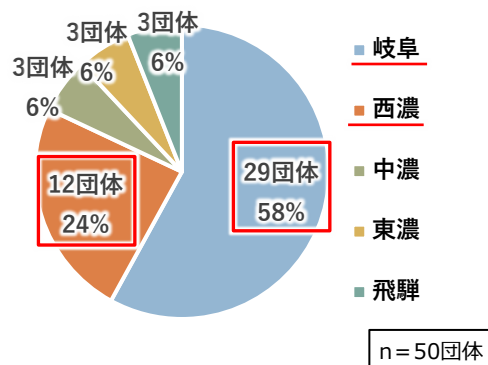

みちみちすいすい
プロジェクトHP

5.スマート出勤Weeksの効果検証 ～アンケートの回答者属性～

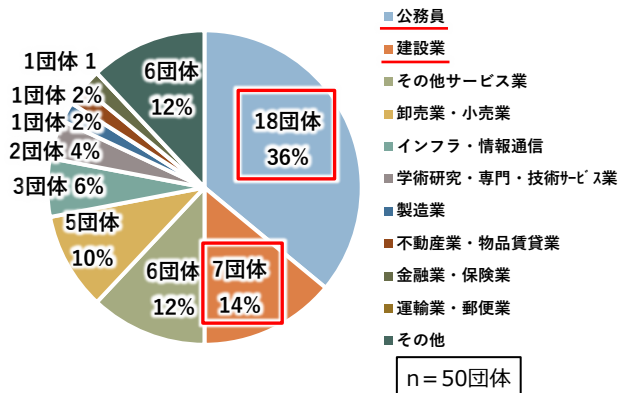
- アンケート回答状況は、賛同登録団体が、R6.10賛同登録団体事前アンケートで50団体、R6.12賛同登録団体事後アンケートで36団体、R6.12従業員事後アンケートが847人である。
- 賛同登録団体のアンケート回答者の内訳は、約6割が岐阜圏域、約2割が西濃圏域に位置しており、業種は約4割が公務員、約1割が建設業となっている。
- 従業員のアンケート回答者の内訳は、約6割が岐阜圏域、その他地域が約1割程度。通勤手段は約9割がクルマ利用。業務内容は、事務職が約6割、技術・専門職（その他内勤等）が約3割となっている。

<回答者属性：団体担当者>

■団体位置



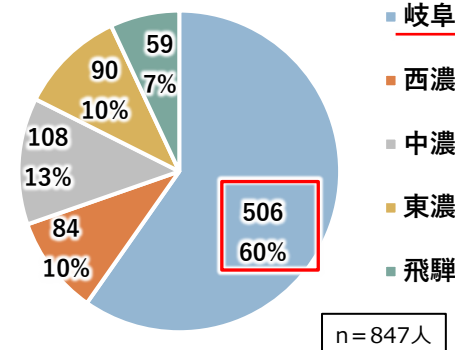
■業種



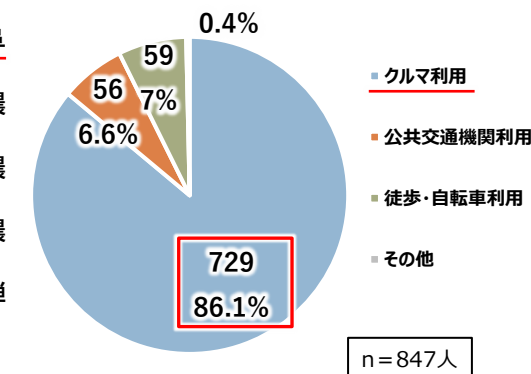
出典：R6.10賛同登録団体事前アンケート調査結果

<回答者属性：所属従業員>

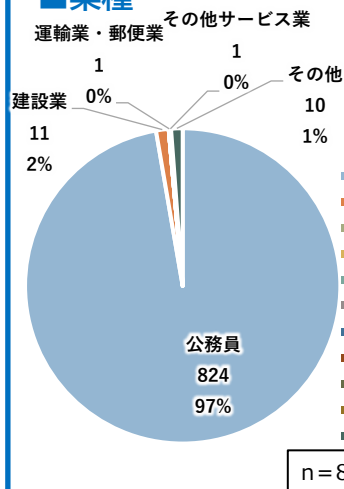
■就業地の位置



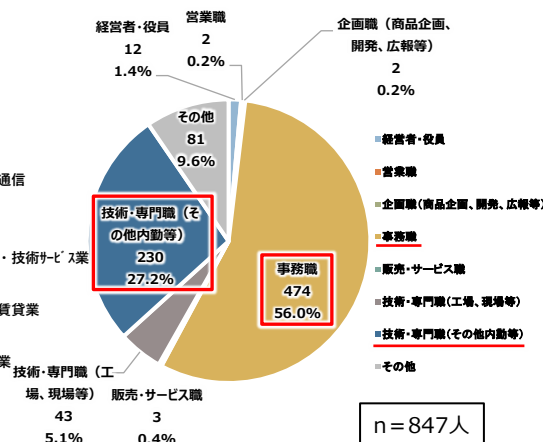
■通勤手段



■業種



■業務内容

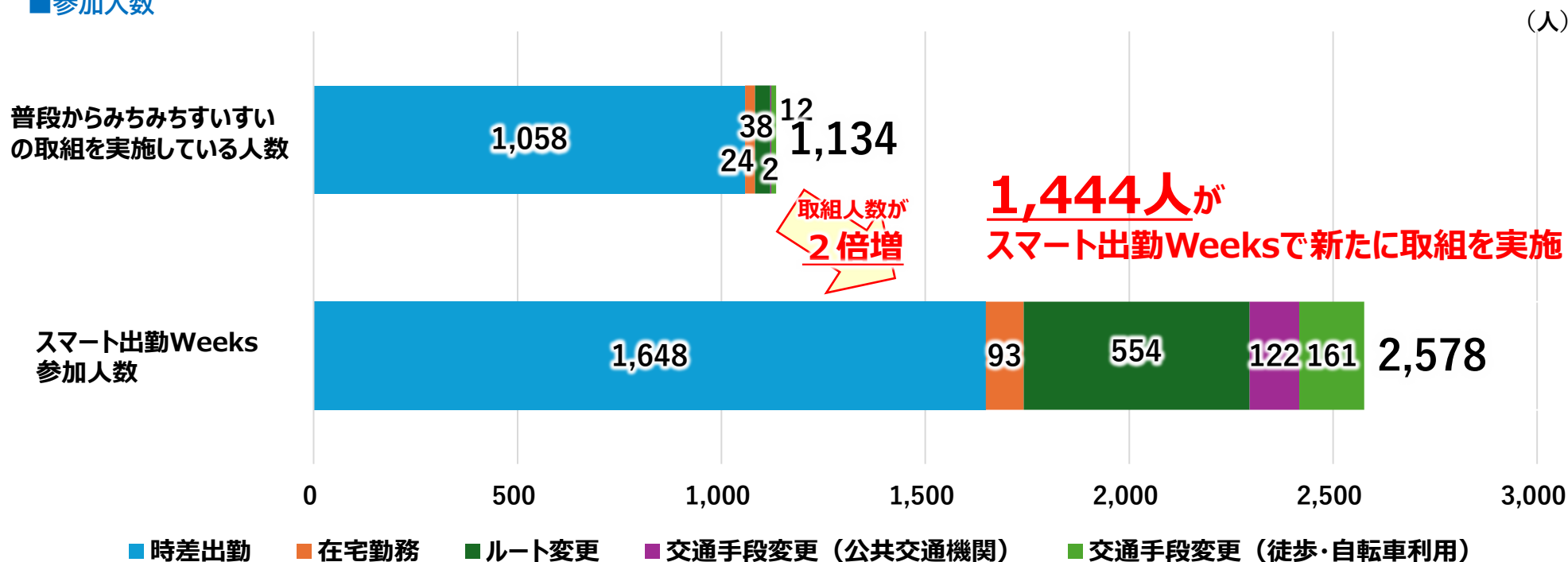


出典：R6.12従業員事後アンケート調査結果

5.スマート出勤Weeksの効果検証 ～スマート出勤Weeksの参加人数～

- 普段からみちみちすいすいプロジェクトの取組を実施している人数は1,134人であり、**今回スマート出勤Weeksで、新たに1,444人の方がプロジェクトの取組を実施した。**
- スマート出勤Weeksの合計参加人数は、普段から取組を実施している方も含め2,578人となった。

■参加人数



<スマート出勤Weeks参加人数>
 ※通勤手段がクルマ利用の方を対象に集計
 ※一人あたり、主な実施内容1つを集計

上段グラフ：R6.10賛同登録団体事前アンケート回答（50団体）
 下段グラフ：R6.12賛同登録団体事後アンケート回答（36団体）

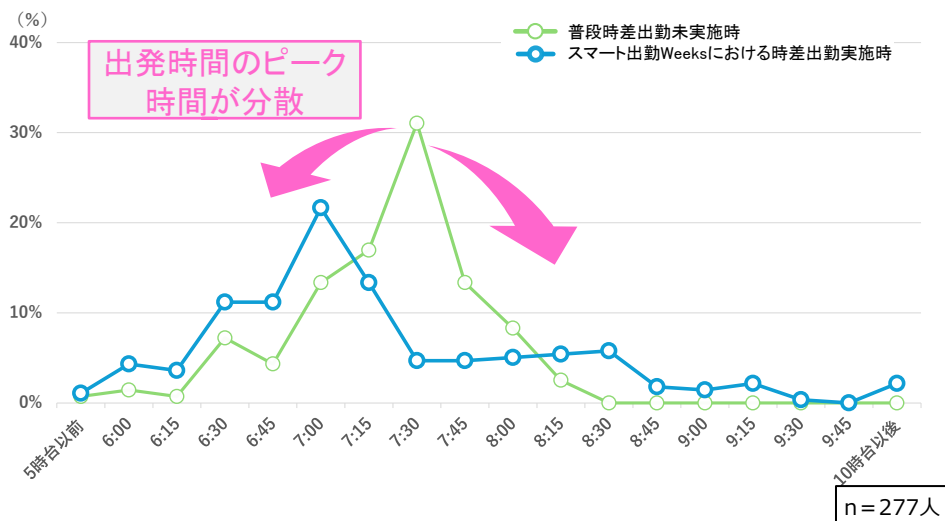
5.スマート出勤Weeksの効果検証 ～時差出勤による通勤時間・渋滞状況の変化～

- スマート出勤Weeks期間中に新たに時差出勤された方は、出発時間を変えたことで勤務地到着時間のピークが8:15から7:45前後、8:45前後に分散。
 - また、時間分散により通勤にかかる所要時間も30分以内が増加し、約7割が普段よりスムーズになったと回答。
- ⇒**出勤時間の分散等により通勤時間の短縮や効果を実感**

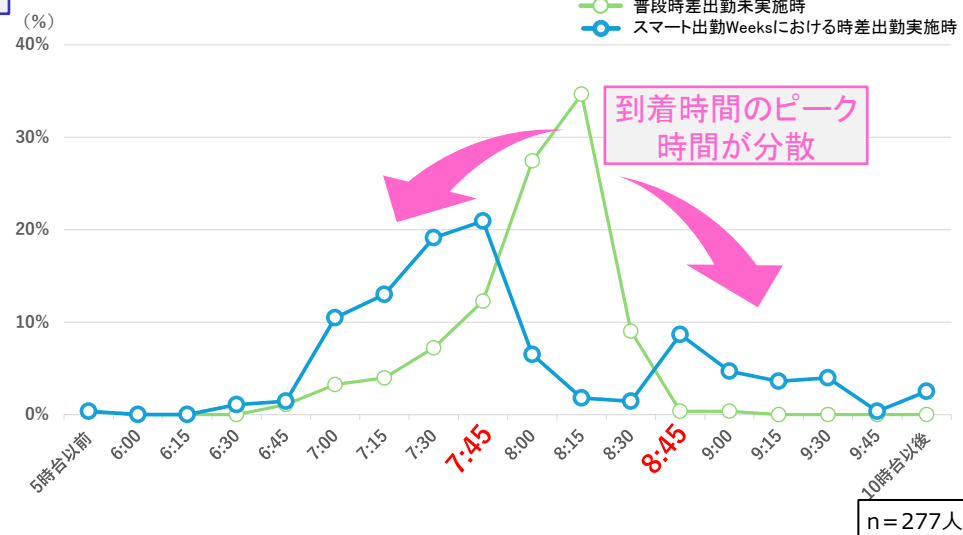
<スマート出勤Weeks期間中、新たに時差出勤に取り組んだ方の状況変化>

■通勤時間の変化（普段未実施→スマート出勤実施）（※クルマ利用者のうち、普段時差出勤を未実施でスマート出勤Weeks中に時差出勤をされた方：277人）

出発

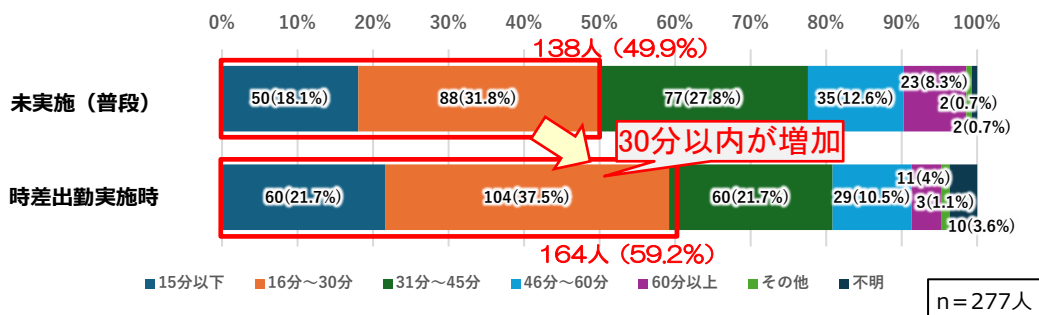


到着



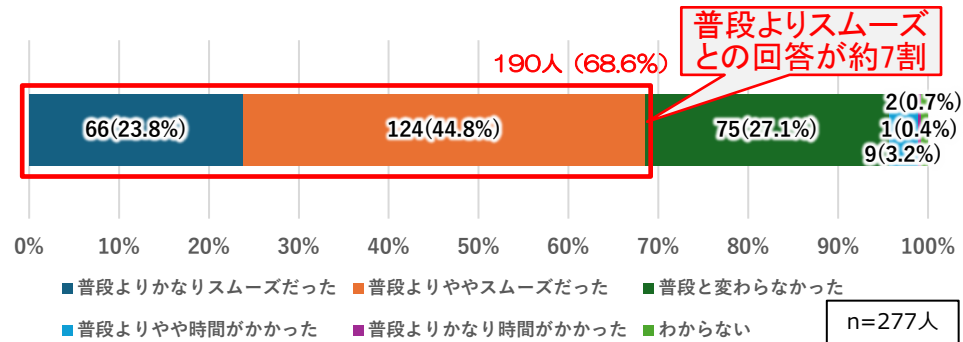
■通勤所要時間の変化

※クルマ利用者のうち、普段時差出勤を未実施でスマート出勤Weeks中に時差出勤をされた方



■交通状況の変化

※クルマ利用者のうち、普段時差出勤を未実施でスマート出勤Weeks中に時差出勤をされた方

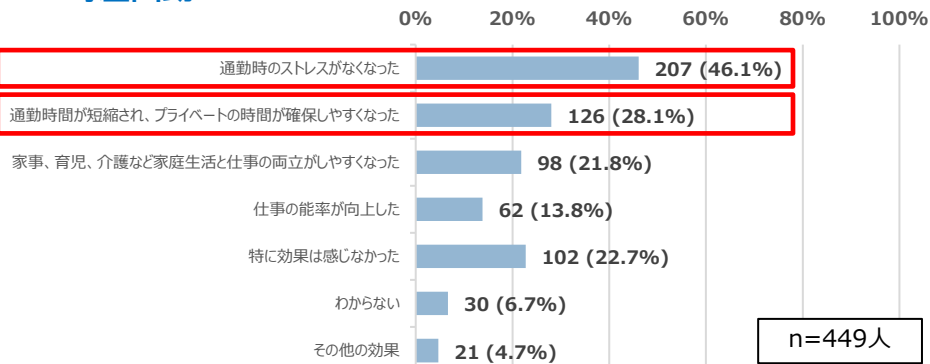


5.スマート出勤Weeksの効果検証 ～スマート出勤Weeksの評価～

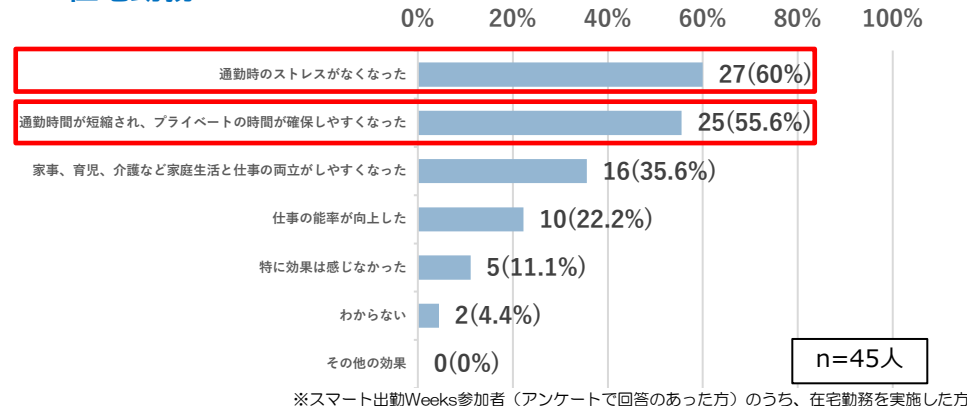
- 時差出勤を実施した方より、46.1%が「通勤時のストレスがなくなった」、28.1%が「通勤時間が短縮され、プライベートの時間が確保しやすくなった」と回答。
 - 在宅勤務を実施した方より、60%が「通勤時のストレスがなくなった」、55.6%が「通勤時間が短縮され、プライベートの時間が確保しやすくなった」と回答。
- ⇒通勤時のストレスや健康面に関する効果を実感しており、今後の行動変容意向も約6割と高い。

<スマート出勤中の各取組を実施したことによる評価>

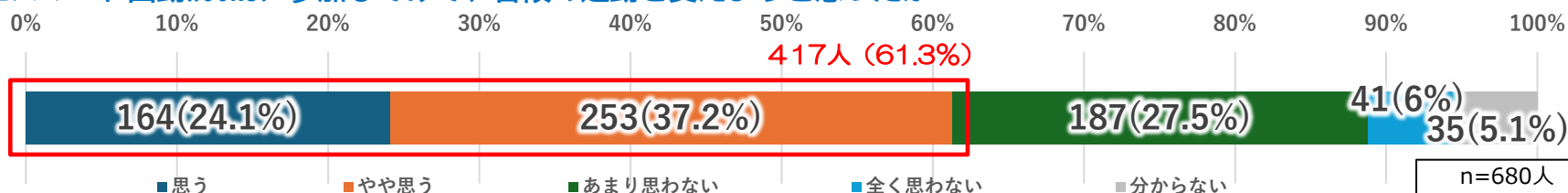
■時差出勤



■在宅勤務

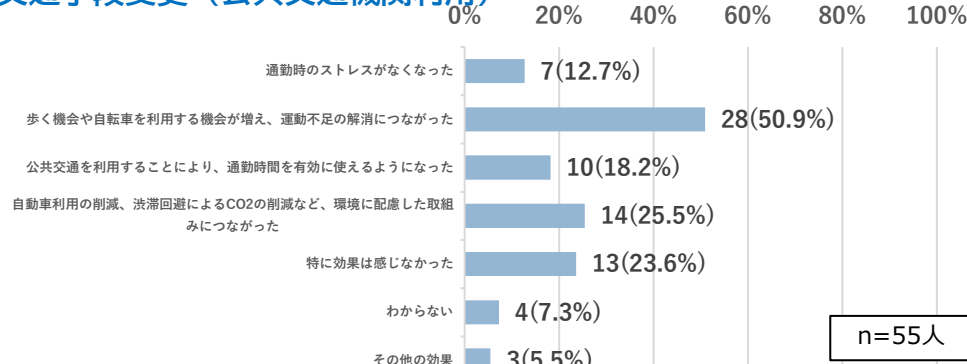


■スマート出勤Weeksに参加してみても、普段の通勤を変えようと思ったか

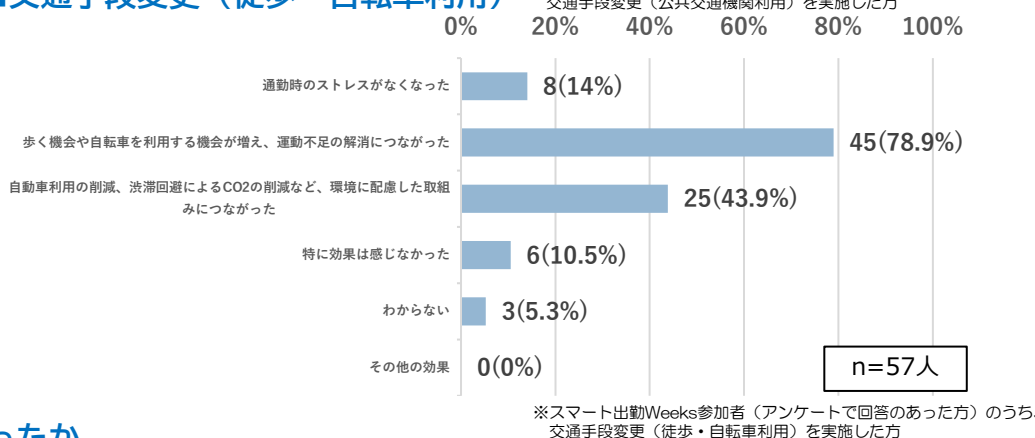


※スマート出勤Weeks参加者（アンケートで回答のあった方）

■交通手段変更（公共交通機関利用）



■交通手段変更（徒歩・自転車利用）



※スマート出勤Weeks参加者（アンケートで回答のあった方）のうち、交通手段変更（徒歩・自転車利用）を実施した方

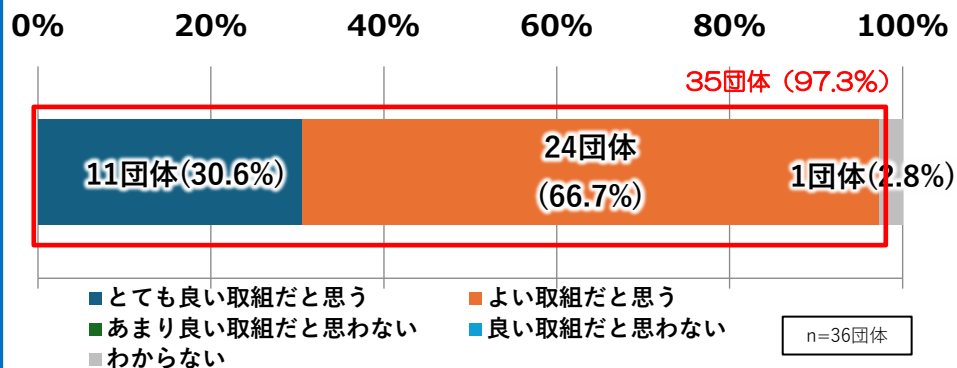
出典：R6.12従業員事後アンケート調査結果

6.みちみちすいすいプロジェクトの効果検証 ～プロジェクトの評価～

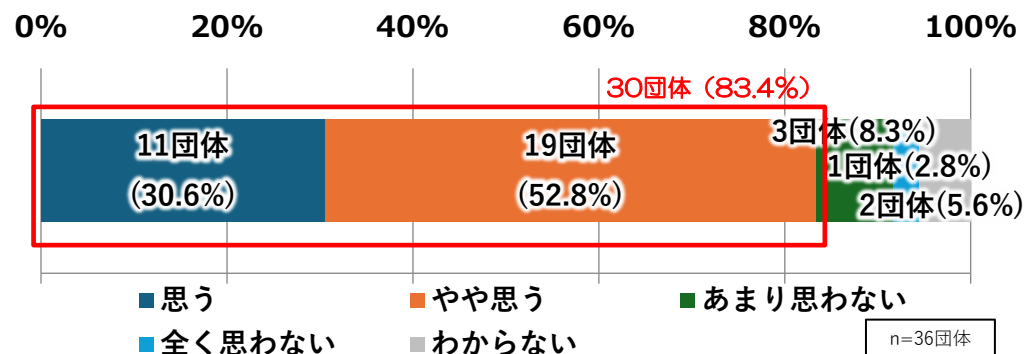
- プロジェクトの評価は、約8～9割が良い取り組みであると評価。また、今後の参加意向についても約8割が参加意向ありとの回答。
⇒プロジェクトの取り組みは高く評価されており、登録や参加を通じてその評価がさらに向上。

<団体担当者の意見>

■みちみちすいすいプロジェクトの取組の評価



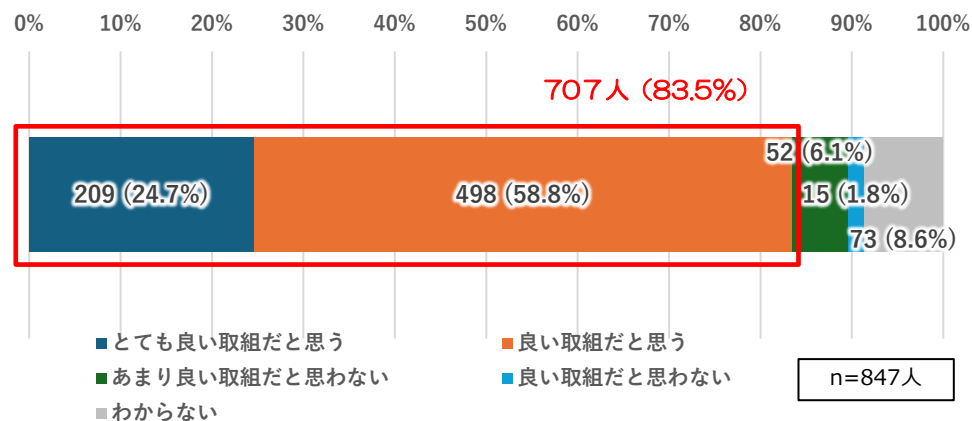
■みちみちすいすいプロジェクトへの参加意向



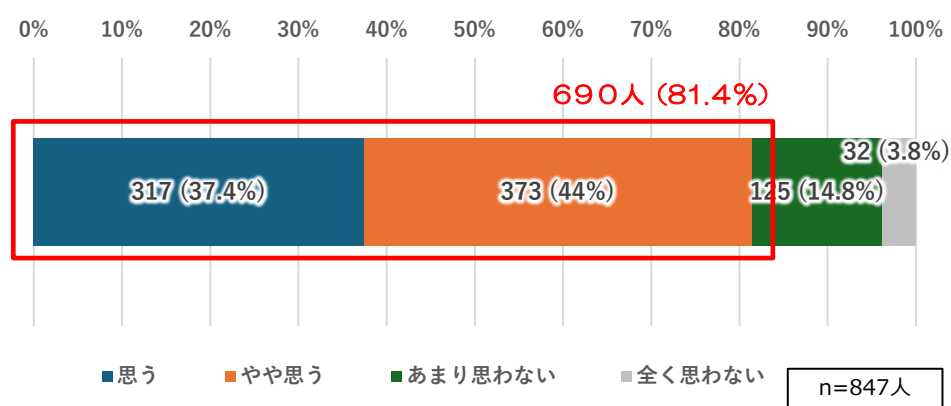
<所属従業員の意見>

出典: R6.12賛同登録団体事後アンケート調査結果

■みちみちすいすいプロジェクトの取組の評価



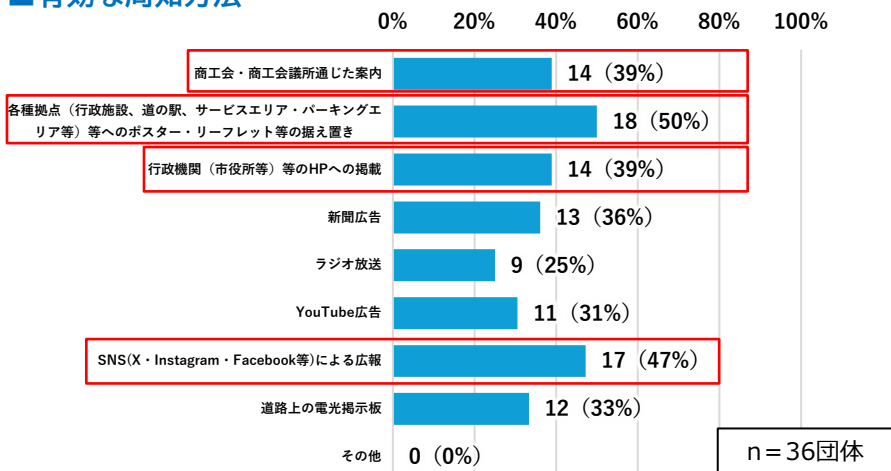
■みちみちすいすいプロジェクトへの参加意向



7.今後の取組に向けて

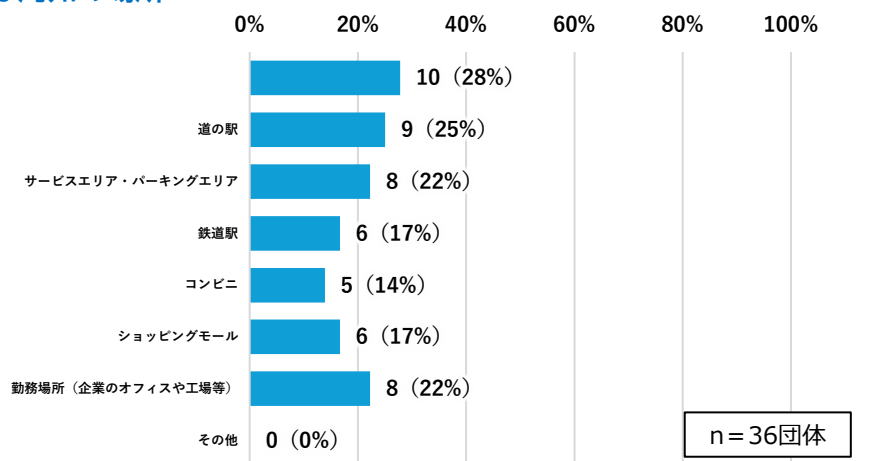
- 周知方法、周知場所に関しては、各種拠点でのリーフレット・ポスターの据え置きやSNSでの周知が有効であるとの回答が多い。また、行政施設や企業のオフィス等の設置場所が有効であるとの意見が多い
- また、協力を促すための具体的な情報提供の他、取組に関する補助・インセンティブ付与、職場環境の整備等の意見があがっている。
⇒協力を促すためには、交通課題、渋滞回避の推奨時間・迂回ルート等を具体的に示すことやインセンティブ等を検討していくことが重要。

■有効な周知方法



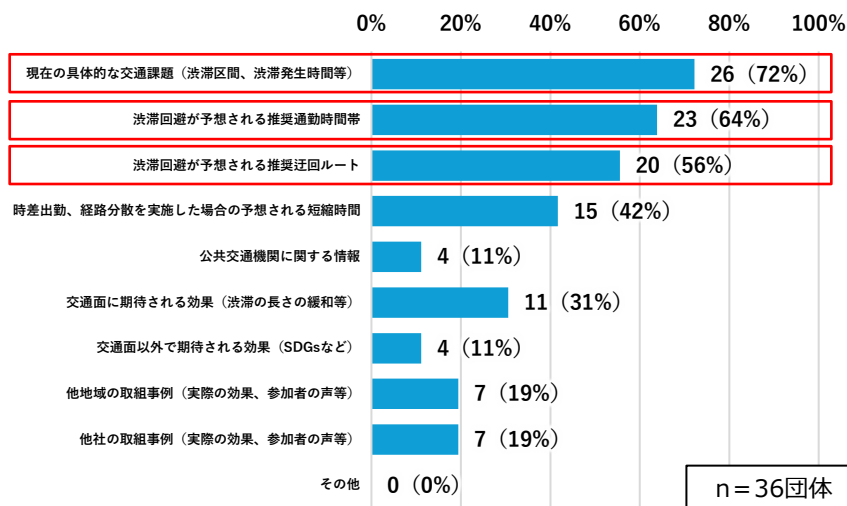
出典：R6.12賛同登録団体事後アンケート調査結果

■有効な周知の場所

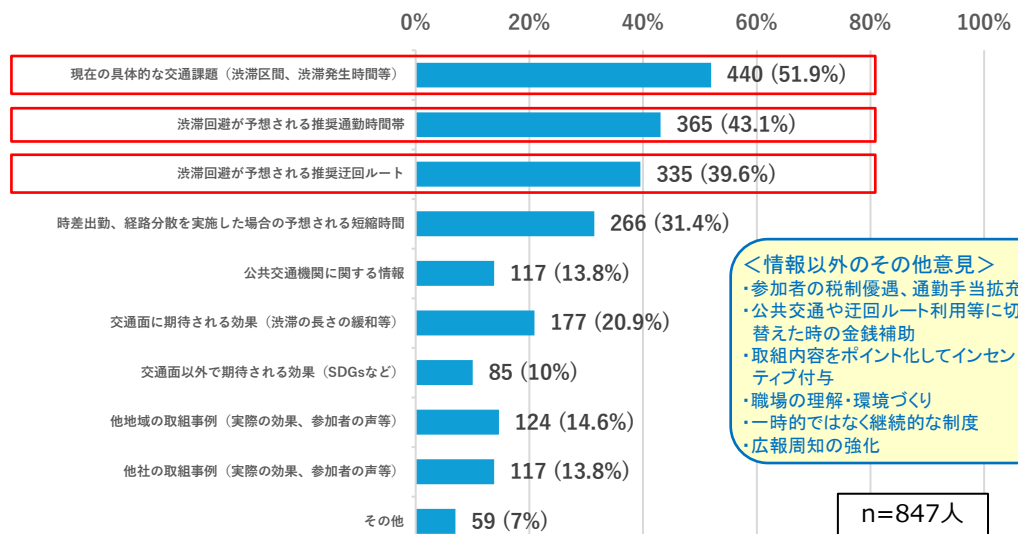


出典：R6.12賛同登録団体事後アンケート調査結果

■協力を促すために必要だと思う情報



出典：R6.12賛同登録団体事後アンケート調査結果



＜情報以外のその他意見＞

- ・参加者の税制優遇、通勤手当拡充
- ・公共交通や迂回ルート利用等に切り替えた時の金銭補助
- ・取組内容をポイント化してインセンティブ付与
- ・職場の理解・環境づくり
- ・一時的ではなく継続的な制度
- ・広報周知の強化

出典：R6.12従業員事後アンケート調査結果

8.まとめ

<みちみちすいすいプロジェクトの効果>

● プロジェクト登録による変化

- ・プロジェクト登録後、約1,000人の方が取組を実施しており、そのうち約300人の方がプロジェクト登録により取組を新たに実施。

● プロジェクト全体の評価

- ・プロジェクト取組全体の評価は、賛同登録団体、従業員において、約8～9割が良い取り組みと評価しており、参加意向も約8割と高い。

<スマート出勤Weeksの効果>

● 通勤時間の変化

- ・スマート出勤Weeksにより、特に時差出勤の取組が実施され、勤務地到着時間の分散等により、通勤時間30分以内の割合が増加し、普段よりも通勤がスムーズになったとの回答が7割と高い。

● スマート出勤Weeksの評価

- ・スマート出勤Weeksの取組を実施したことによる評価は、通勤時のストレスの緩和の他、余暇時間の増加、健康面の向上等の効果を感じている方が多く、取組実施の心理的效果は高い。
- ・また、今後普段の通勤を変えようと思った方は、約6割と高い。

➡ 参加者の心理的渋滞緩和の効果は高く、取組の効果は発現していると考えられる。

<今後の取組に向けて>

● 周知方法について

- ・周知方法、周知場所に関しては、各種拠点でのリーフレット・ポスターの据え置きやSNSでの周知が有効であるとの回答が多い。また、行政施設や企業のオフィス等の設置場所が有効であるとの意見が多い

● 広報内容について

- ・協力を促すためには、交通課題、渋滞回避の推奨時間・迂回ルート等の情報を具体的に示していくことが重要である。
- ・また、具体的な情報の他、通勤手段変更による補助の拡充、利用者へのポイント付与等のインセンティブに関する意見もある。

➡ 「スマート出勤Weeks」によって取組による効果を実感して頂き、多くのプロジェクトに対する前向きな評価を得ることができた。引き続き、交通渋滞緩和を目指し、本取組の更なる拡充（効果的な広報・行動変容を促す働きかけ）について検討していく。

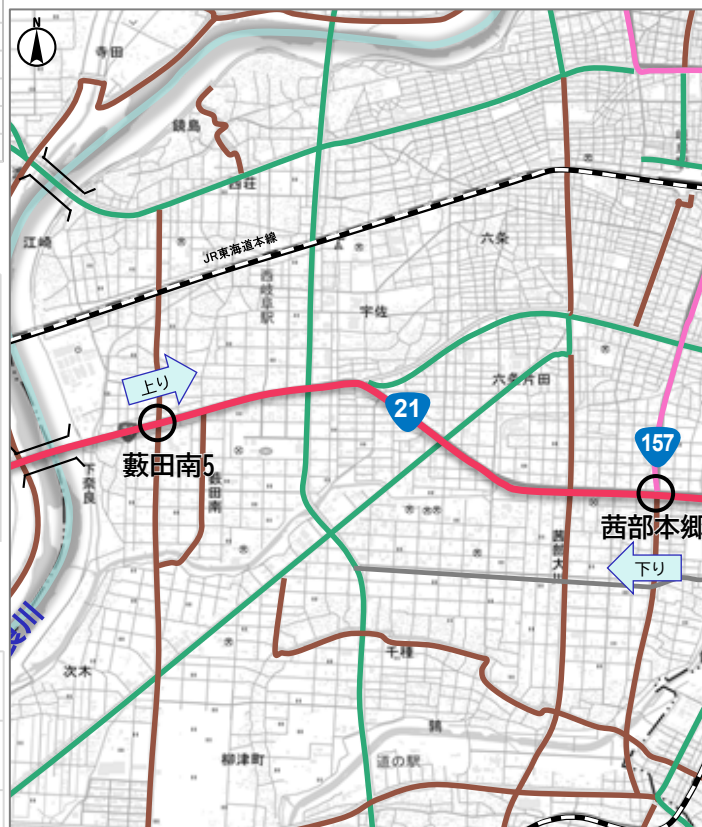
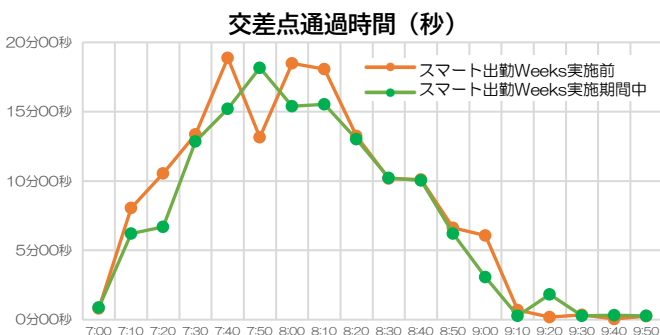
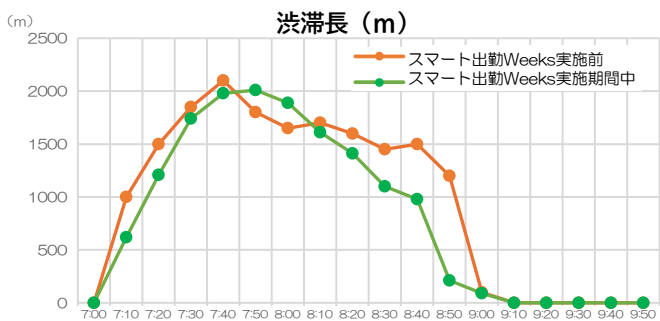
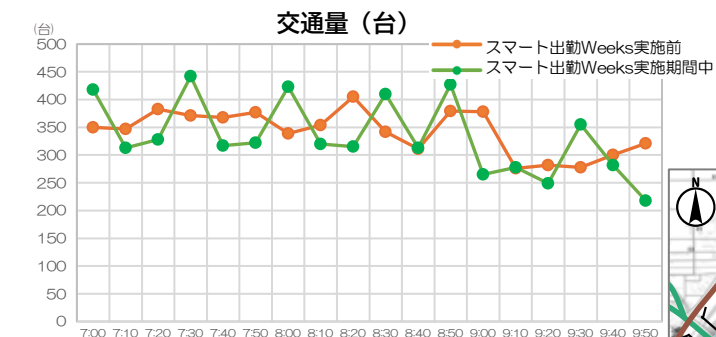
参考資料

交通状況の変化

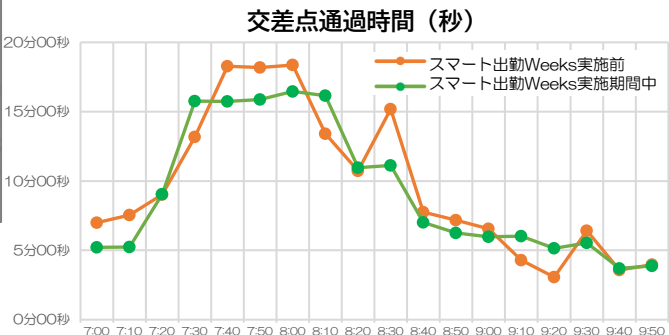
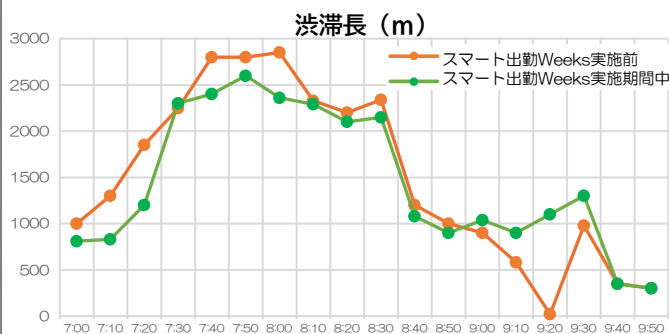
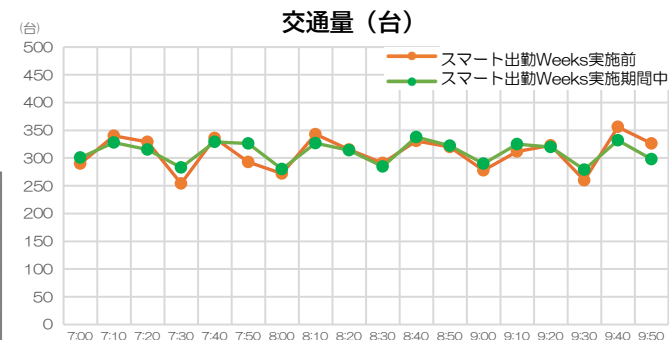
(参考) スマート出勤Weeks期間中の交通量等の状況

- 交通状況には大きな変化は見られなかった。

< 藪田南5交差点 西側流入部（上り） >



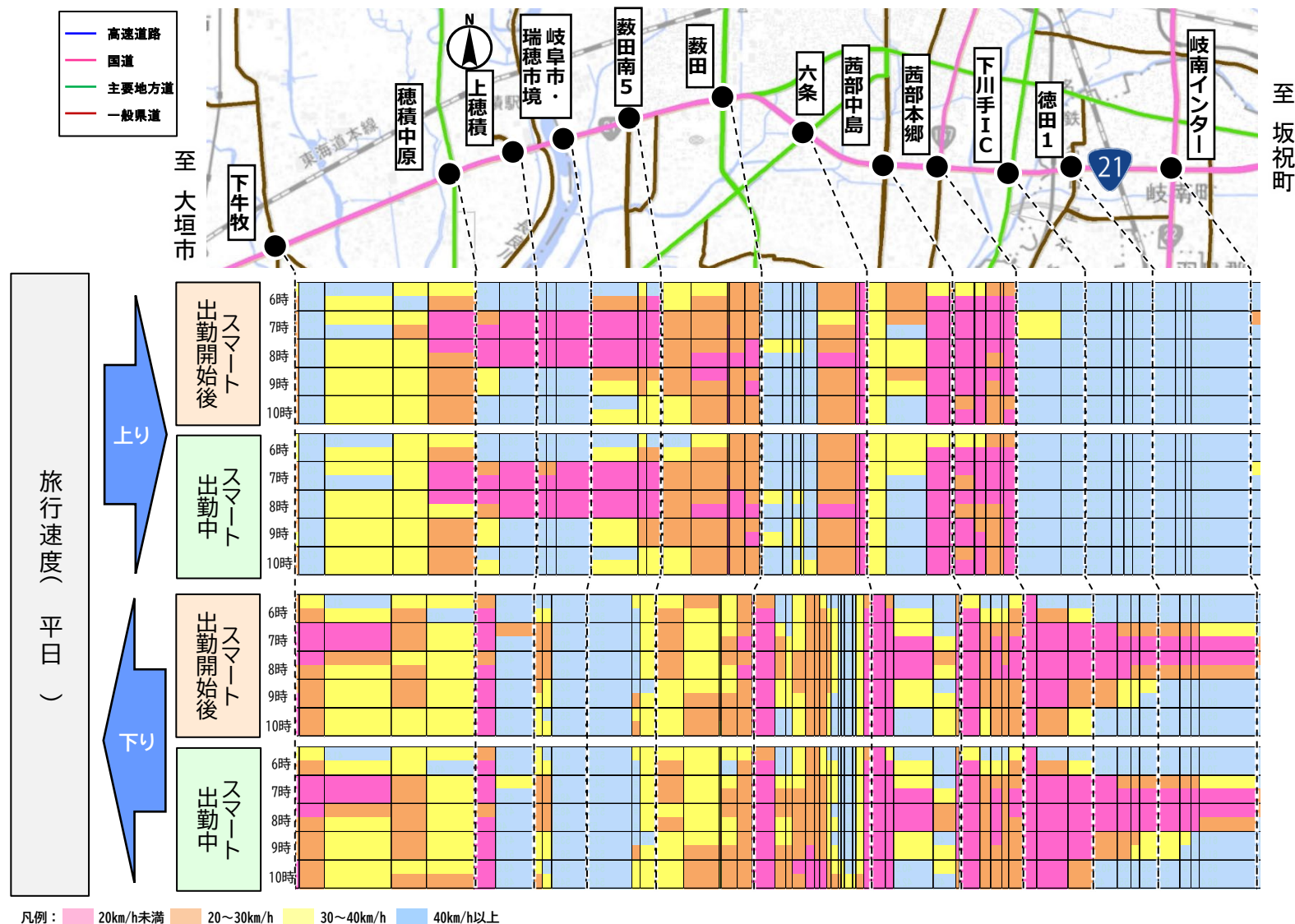
< 茜部本郷交差点 東側流入部（下り） >



(参考) スマート出勤Weeks期間中の旅行速度の状況

● 交通状況には大きな変化は見られなかった。

■旅行速度の状況 国道21号（岐南IC～下牛牧）

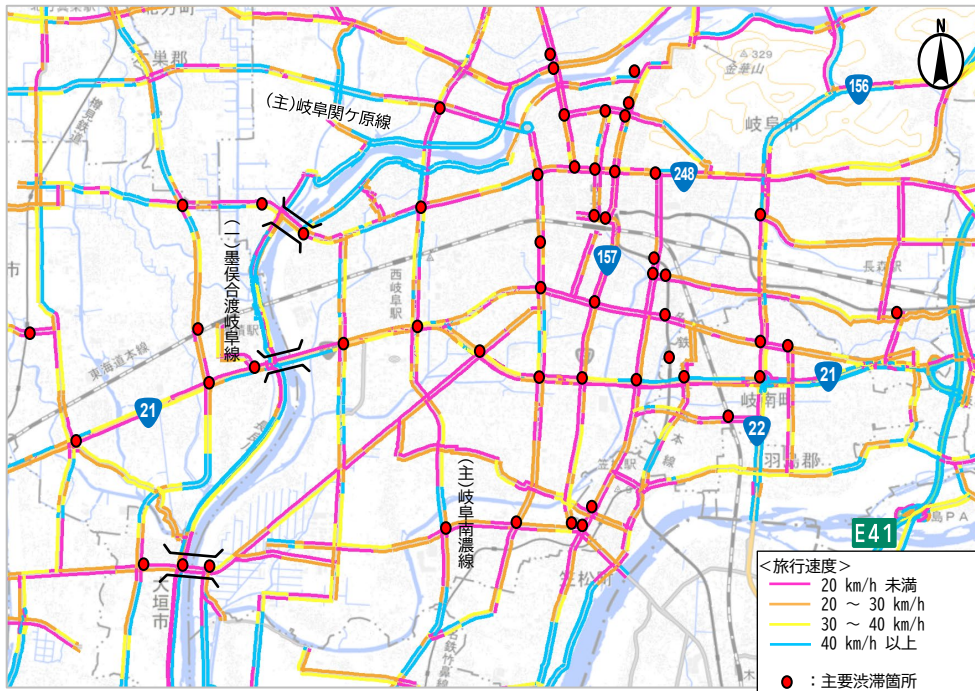


(参考) スマート出勤Weeks期間中の旅行速度の状況

- 交通状況には大きな変化は見られなかった。

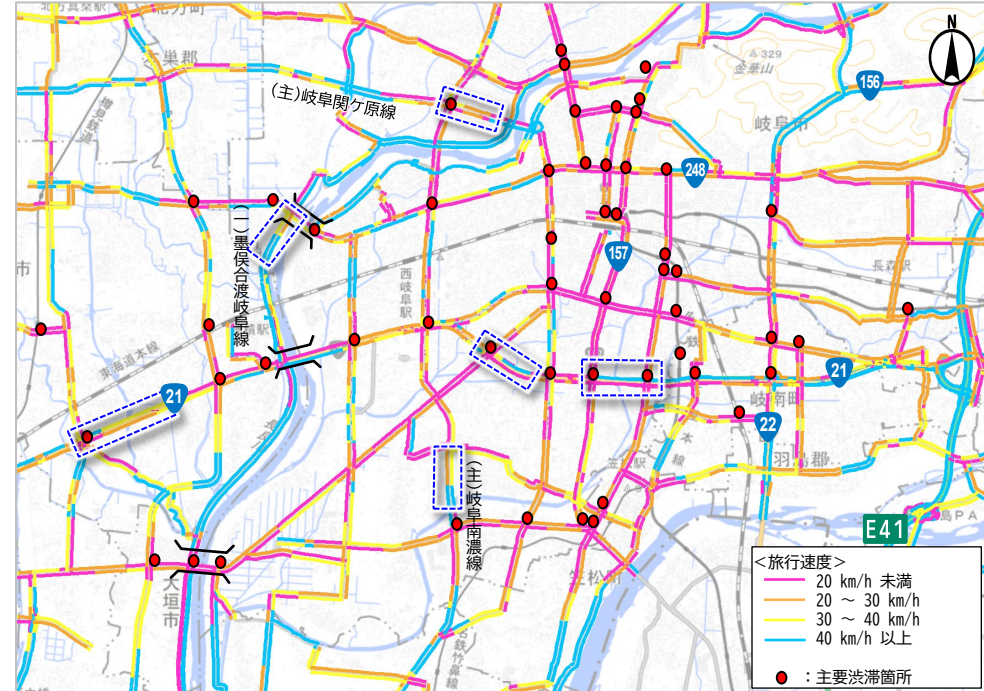
■旅行速度の状況 岐阜市内付近（8時台）

<スマート出勤Weeks実施前>



出典：ETC2.0プローブデータ 【スマート出勤Weeks実施前】 R6年10月平日 8時00分

<スマート出勤Weeks実施期間中>



出典：ETC2.0プローブデータ 【スマート出勤Weeks実施期間中】 R6.11.25～12.6 平日 8時00分